

日南看護専門学校 疾病論V：試験問題

【1】Basedow 病について、その症状、診断、治療について答えなさい。(各5点 計15点)

(1) 症状

(2) 診断

(3) 治療

【2】ホルモンのフィードバック機構について、正しいものはどれか、2つ選べ。(各2点)

- ① 末梢のホルモンが過剰な時は、ネガティブフィードバックがかかる。
- ② 末梢のホルモンが不足した時は、ポジティブフィードバックがかかる。
- ③ 末梢のホルモンが過剰な時は、ポジティブフィードバックがかかる。
- ④ 末梢のホルモンが不足した時は、ネガティブフィードバックがかかる。
- ⑤ 末梢のホルモンが正常な時は、ポジティブフィードバックがかかる。

【3】甲状腺腫瘍について、誤っているものはどれか、1つ選べ。(2点)

- ① 触診で発見されることがある。
- ② 腫瘍の鑑別には、超音波検査が有用である。
- ③ 悪性が疑われる場合は、甲状腺穿刺吸引細胞診を行う。
- ④ 甲状腺がんでは、腫瘍マーカー (CEA) が上昇することがある。
- ⑤ 一般的に、甲状腺がんは予後が非常に悪い。

【4】慢性甲状腺炎について、○×で答えなさい。(各1点)

- (×) 米国人の Tonikaku Akarui Yasumura 博士が世界で初めて報告した。
- (○) 甲状腺機能が亢進することがある。
- (○) 甲状腺機能が低下することがある。
- (○) 甲状腺機能低下時は、甲状腺ホルモン製剤 (チラージン S[®]) を内服する。

【5】甲状腺の救急治療について、誤っているものはどれか、1つ選べ。(2点)

- ① 甲状腺クリーゼは、バセドウ病が原因であることが多い。
- ② 甲状腺クリーゼは、甲状腺の中毒症状を起こす。
- ③ 甲状腺クリーゼは、致死率が10%以上と高い。
- ④ 粘液水腫は、甲状腺ホルモンの極端な不足で起こる。
- ⑤ 粘液水腫は、バセドウ病が原因であることが多い。

日南看護専門学校 疾病論V：試験問題

【6】慢性腎不全による二次性副甲状腺機能亢進症について、誤っているものはどれか、2つ選べ。(各2点)

- ① 血中リン値が低値になる。
- ② 血中 PTH 値が低値になる。
- ③ 食事療法による、リンの摂取制限が有効である。
- ④ 内服薬による、活性化 VitD 補充が有効である。
- ⑤ 骨粗鬆症や骨折のリスクが高まる。

【7】視床下部と下垂体ホルモンの対応について、○×で答えなさい。(各1点)

- (○) 成長ホルモン放出ホルモン(GH-RH) — 成長ホルモン(GH)
- (○) 甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH) — 甲状腺刺激ホルモン(TSH)
- (○) 甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH) — プロラクチン(PRL)
- (○) 副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン(CRH) — 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)
- (○) 性腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH) — 黄体形成ホルモン(LH)

【8】下垂体腺腫について、誤っているものはどれか、1つ選べ。(2点)

- ① 悪性腫瘍が多い。
- ② 頭痛がきっかけで発見されることがある。
- ③ 視野障害がきっかけで発見されることがある。
- ④ 経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出術 (Hardy 手術) が治療法の1つである。
- ⑤ ガンマナイフ (放射線治療) が治療法の1つである。

【9】成長ホルモン (GH) 産生腫瘍について、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ① 子どもの頃に発病すると、巨人症を呈することが多い。
- ② 大人になって発病すると、巨人症を呈することが多い。
- ③ 糖尿病を合併しやすい。
- ④ 鼻・口唇の肥大や、下顎突出が特徴的である。
- ⑤ 成長ホルモンを注射で補充する。

【10】尿崩症・SIADH について、誤っているものはどれか、2つ選べ。(各2点)

- ① 尿崩症は、ADH (抗利尿ホルモン) 過剰で起こる。
- ② 尿崩症は、多尿・低張尿・口渇を呈する。
- ③ SIADH は、ADH (抗利尿ホルモン) 過剰で起こる。
- ④ SIADH は、体液が薄まって高 Na 血症を呈する。
- ⑤ 尿崩症は、デスマプレシン酢酸塩 (ADH 誘導体) の点鼻または内服薬で治療

日南看護専門学校 疾病論V：試験問題

疾病論4 単位認定試験解答用紙 令和6年10月31日(木) (谷口先生)

【11】クッシング症候群について、誤っているものはどれか、1つ選べ。(2点)

- ① コルチゾルが過剰に分泌され、多彩な症状を引き起こす。
- ② ステロイド薬の投与が原因になることがある。
- ③ 満月様顔貌や、中心性肥満を呈する。
- ④ 診断のために、デキサメサゾン抑制試験を行う。
- ⑤ 治療のために、ステロイドを投与する。

【12】原発性アルドステロン症について、○×で答えなさい。(各1点)

- (×) コルチゾルが過剰産生される。
- (○) 高血圧が起こる。
- (○) 低カリウム血症が起こる。
- (○) 手術を希望しない場合は、抗アルドステロン薬を使用する。

【13】アジソン病について、正しいものはどれか、2つ選べ。(各2点)

- ① 副腎皮質の機能が低下する。
- ② コルチゾルのみ不足する。
- ③ アルドステロンのみ不足する。
- ④ ACTH増加により、皮膚に色素沈着が起こりやすい。
- ⑤ 英国の内科医 Don't Worry I'm Wearing 博士が発見、第一選択は外科治療である。

【14】褐色細胞腫について、誤っているものはどれか、2つ選べ。(各2点)

- ① カテコールアミンを産生する腫瘍である。
- ② 頭痛、動悸、顔面蒼白などの症状を呈する。
- ③ 血中・尿中のノルアドレナリン・アドレナリン・VMAの測定は、診断に有用である。
- ④ 低血圧になる事が多い。
- ⑤ 慢性化すると、先端巨大症・巨人症を呈する。

No. _____

5点×3=15点

【1】 (1)	眼球突出、甲状腺腫大、頻脈、体重減少、発汗、手指振戦
(2)	抗TSH受容体抗体、TSH、FT3、FT4、甲状腺シチグラーフ、エコー
(3)	薬物治療：チアゾール、β受容体拮抗薬、βブロッカー 手術療法：甲状腺全摘除術、甲状腺部分摘除術

各2点

【2】	1	2
-----	---	---

2点

【3】	5
-----	---

各1点

【4】	①	×	②	○	③	○	④	○
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

2点

【5】	5
-----	---

各2点

【6】	1	2
-----	---	---

各1点

【7】	①	○	②	○	③	○	④	○	⑤	○
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2点

【8】	1
-----	---

各2点

【9】	2	5
-----	---	---

各2点

【10】	1	4
------	---	---

2点

【11】	5
------	---

各1点

【12】	①	×	②	○	③	○	④	○
------	---	---	---	---	---	---	---	---

各2点

【13】	1	4
------	---	---

各2点

【14】	4	5
------	---	---

60 / 60点